

別表1 (第12条関係)

	授業科目の名称		配当年次	単位数			養護教諭	備考
	保健福祉学部 看護学科			必修	選択	自由		
象徴科目	ヒューマンサービス論Ⅰ		1	1				必修2単位
	ヒューマンサービス論Ⅱ		4	1				
授業科目の概要	人間	自己形成・人間理解群	倫理と人間	1		2		●は課程選択者が必ず履修しなければならない科目を示す。
		宗教と人間	1		2			
		哲学	1		2			
		教育原論	1		2	●		
		心理学	1		2			
		発達心理学	1		1			
		人間関係とコミュニケーションⅠ	1	1				
		人間関係とコミュニケーションⅡ	1		1			
		健康スポーツ	1		1	●		
	バリアフリースポーツ	1		1	●			
	創作・造形活動	1		1				
	総合	社会理解群	日本国憲法	1		2	●	
		社会学	1		2			
		現代社会と危機管理	1		1			
		ボランティア・市民活動論	1		1			
		人権・ジェンダー	1	2				
		歴史と人間	1		2			
		生活と経済	1		2			
		神奈川の生活と文化	1		2			
文化人類学		1		2				
法と人間	1		2					
教目	自然理解群	科学と人間	1		2			
	環境学	1		2				
	物理学	1		2				
	化学概論	1		2				
	基礎有機化学	1		2				
	基礎有機化学実験	1		1				
	生物学概論	1		2				
	細胞生物学	1		2				
	生物学基礎実験	1		1				
育目	国際理解群	多文化理解	1		2			
		国際社会と日本	1		2			
		英語(英会話Ⅰ)	1		1	●		
		英語(講読)	1		1			
		英語(保健医療福祉のための英語Ⅰ)	1		1	●		
		英語(保健医療福祉のための英語Ⅱ)	1		1	●		
		英語(総合英語)	1		1			
		英語(英会話Ⅱ)	1		1			
		コリア語(基礎)	1		1			
		コリア語(応用)	1		1			
		スペイン語(基礎)	1		1			
		スペイン語(応用)	1		1			
		中国語(基礎)	1		1			
中国語(応用)	1		1					
情報理解群	統計学	1	2					
	情報の活用と倫理	1		1				
	情報処理学Ⅰ	1		1	●			
	情報処理学Ⅱ	1	1					
	文献検索とクリティーク	1	1					
連携実践教育科目	基礎・展開科目	健康論	1	2			必修13単位 選択1単位以上 ●は課程選択者が必ず履修しなければならない科目を示す。	
		保健医療福祉論Ⅰ	1	2				
		公衆衛生学	1	2				
		保健医療福祉論Ⅱ	2	2				
		地域保健医療福祉連携論	3	1				
		ヒューマンサービス総合演習	4	1				
	関連科目	疫学・社会調査	2	2		●		
		カウンセリング論	2		1			
		薬の基礎科学	1		1			
		感染の予防と管理	1		1			
救命・救急学概論	2		1					
口腔健康論	1		1					
医用機器概論	2		1					
家族社会学	2		2					
保健福祉行政論	4	1						

選択4単位以上

授 業 科 目 の 概 要	授業科目の名称		配当年次	単位数			養 護 教 諭	備 考
	保健福祉学部 看護学科			必修	選択	自由		
看護支持科目	体のしくみⅠ		1	2				必修85単位 選択2単位以上
	体のしくみⅡ		1	1				
	心のしくみ		2	1				
	栄養学		1	2				
	臨床薬理学		2	2				
	病理学		1	1				
	病態生理学		2	2				
	疾病と治療Ⅰ		2	2				
	疾病と治療Ⅱ		2	1				
	疾病と治療Ⅲ		2	1				
	感染症学		1	1				
	看護関係法規		2	1				
	問題に基づく学習法(PBL)		2	1				
	基礎看護学	ヘルスアセスメント論		1	2			
看護学原論			1	2				
看護技術論Ⅰ			1	2				
看護技術論Ⅱ			2	2				
看護技術論Ⅲ(看護過程)			2	1				
基礎看護学実習Ⅰ			1	1				
基礎看護学実習Ⅱ			2	1				
基礎看護学実習Ⅲ			2	1				
エビデンスベーストナーシング(EBN)			3	1				
看護倫理		3	1					
ヘルスケア リプロダクティブ	リプロダクティブ・ヘルスケアⅠ		2	2				
	リプロダクティブ・ヘルスケアⅡ		3	2				
	リプロダクティブ・ヘルスケア実習		3	2				
看護学 小児	小児看護学Ⅰ		2	2				
	小児看護学Ⅱ		3	2				
	小児看護学実習		3	2				
成人看護学	成人看護学(急性期)Ⅰ		2	2				
	成人看護学(急性期)Ⅱ		3	2				
	成人看護学(急性期)実習		3	3				
	成人看護学(慢性期)Ⅰ		2	1				
	成人看護学(慢性期)Ⅱ		3	2				
	成人看護学(慢性期)実習		3	3				
看護学 高齢者	高齢者看護学Ⅰ		2	2				
	高齢者看護学Ⅱ		2	2				
	高齢者看護学実習		3	2				
看護学 精神保健	精神保健看護学Ⅰ		2	1				
	精神保健看護学Ⅱ		3	2				
	精神保健看護学実習		3	2				
地域・在宅看護学	地域看護学Ⅰ		1	1				
	地域看護学Ⅱ		2	2				
	地域看護学実習		2	1				
	在宅看護学Ⅰ		3	1				
	在宅看護学Ⅱ		3	2				
	在宅看護学実習		3	2				
	産業保健論Ⅰ		2		1			
看護の統合	看護管理学		4	2				
	終末期看護論		4	1				
	看護研究法		4	1				
	統合実習		4	3				
	災害看護論		4	1				
	看護教育学		4		1			
	看護とキャリアディベロップメント		4		1			
	臨床看護応用演習		4		2			
	国際看護論		4		1			
	救急看護		4		1			
	リハビリテーション看護		4		1			
	国際看護交流演習		4		1			

授 業 科 目 の 概 要	授業科目の名称		配当年次	単位数			養護教諭	備 考
	保健福祉学部 看護学科			必修	選択	自由		
	専 門 創 造 教 育 科 目 (自 由)	公衆衛生看護学 関連科目						
	学校保健論 I ※		1			1	●	自由 2単位
	学校保健論 II		2			1	●	●は課程選択者が必ず履修しなければならない科目を示す。 ※は養護教諭課程選択者に限る。
	公衆衛生看護活動論		2			2		
	学校保健方法論 ※		2			1	●	自由21単位
	養護概説 ※		3			2	●	●は課程選択者が必ず履修しなければならない科目を示す。
	現代教職論		2			2	●	
	教育心理学		2			2	●	※は養護教諭課程選択者に限る。
	特別支援教育論		3			1	●	
	教育課程論		1			1	●	
	道徳・総合的な学習の時間・特別活動指導法		1			1	●	
	教育方法論		1			2	●	
	生徒指導論		1			1	●	
	教育相談論		1			1	●	
	総合演習（養護教諭） ※		3			1	●	
	教職実践演習（養護教諭） ※		4			2	●	
	養護実習 I ※		3			2	●	
	養護実習 II ※		4			2	●	
	卒業研究	卒業研究	4	2				必修2単位

(先修条件等)

- 1 基礎看護学実習Ⅲを履修するためには、ヘルスアセスメント論、看護技術論Ⅰ・Ⅱ、基礎看護学実習Ⅰを修得済みであること。
- 2 リプロダクティブ・ヘルスケア実習を履修するためには、体のしくみⅠ、基礎看護学実習Ⅲ、リプロダクティブ・ヘルスケアⅠ・Ⅱを修得済みであること。
- 3 小児看護学実習を履修するためには、体のしくみⅠ、基礎看護学実習Ⅲ、小児看護学Ⅰ・Ⅱを修得済みであること。
- 4 成人看護学(急性期)Ⅱを履修するためには、成人看護学(急性期)Ⅰ、疾病と治療Ⅱを修得済みであること。
- 5 成人看護学(急性期)実習を履修するためには、体のしくみⅠ、基礎看護学実習Ⅲ、成人看護学(急性期)Ⅱを修得済みであること。
- 6 成人看護学(慢性期)実習を履修するためには、体のしくみⅠ、基礎看護学実習Ⅲ、成人看護学(慢性期)Ⅱを修得済みであること。
- 7 精神保健看護学実習を履修するためには、体のしくみⅠ、心のしくみ、基礎看護学実習Ⅲ、精神保健看護学Ⅰ・Ⅱを修得済みであること。
- 8 在宅看護学実習を履修するためには、体のしくみⅠ、基礎看護学実習Ⅲ、地域看護学Ⅰ・Ⅱ、地域看護学実習、在宅看護学Ⅰ・Ⅱを修得済みであること。
- 9 高齢者看護学実習を履修するためには、体のしくみⅠ、基礎看護学実習Ⅲ、高齢者看護学Ⅰ・Ⅱを修得済みであること。
- 10 卒業年次であっても当該年度をもって卒業するための単位取得が見込めない場合は卒業研究、統合実習の履修登録は認めない。